

農 総 第 1 1 0 号
令和 2 年 1 2 月 1 1 日

関係機関の長 殿

東北大学大学院農学研究科長
阿部 敬悦

教員の公募について（依頼）

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

本研究科 附属複合生態フィールド教育研究センター複合水域生産システム部（女川フィールドセンター）
沿岸生物生産システム学分野 准教授候補者について、下記のとおり公募を行うことになりました。
つきましては、貴機関の関係者に周知方、ご高配くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 募集人員 准教授 1人
2. 分野名 沿岸生物生産システム学分野
3. 応募資格（選考方針）
 - （1） 人格が高潔で博士の学位を有し、学生に対する教育・研究指導を適切に行える人
 - （2） 海洋生態学に関する卓越した識見を有し、国際的な活躍と社会的な貢献ができる人
 - （3） 沿岸海域生態系に関する研究領域において優れた業績を持ち、牡鹿半島を含めた沿岸海域の環境動態ならびに生物の相互作用に関する研究プロジェクトを推進できる人
 - （4） 附属複合生態フィールド教育研究センターの管理運営及び実習等の教育活動に主体的に参画し、学内外の連携研究を推進できる人
 - （5） 協調性があり、学内の運営に積極的に参画できる人
4. 主な研究領域
沿岸海域における生態学、環境学、水産学のいずれか、または複数の領域
5. 主な担当授業科目
 - （1）大学院
「複合生態フィールド科学専門実習」（分担）
「水族生物学特論」（分担）
 - （2）学部
「臨海実習」（分担）
「生産フィールド実習Ⅰ」（分担）
「生産フィールド実習Ⅱ」（分担）

「水圏環境コミュニケーション論フィールド講義」 (分担)

(以上の実習は、いずれも留学生が含まれるため英語での指導能力が必要)

「沿岸環境学 (仮称)」

「Current Topics in Aquatic Organism (仮称)」

(英語での講義)

(3) その他、女川フィールドセンターで行う実習または講義の分担

6. 採用予定年月日 令和3年4月1日

7. 提出書類 (全てA4判縦とし、横書き)

(1) 履歴書 (写真貼付、電子メールアドレスを明記)

(2) 研究業績概要 (1,000字程度)

(3) 研究業績一覧 (主要論文5編以内に○印を付け、その別刷り (コピー可) を提出) : 原著論文 [英文と和文に分け、査読の有無を記載し、コレスポンディングオーサーになっている論文に*印を付ける。全ての論文に、ジャーナルの最新のインパクトファクター (3-Year Impact Factor) を記入のこと]、学位論文、著書、総説、受賞、その他の項目に分類して記載

(4) 教育業績

(5) 教育・研究に関する抱負 (1,000字程度)

(6) 各種研究費採択状況、学会等の活動歴及び国際会議講演 (招待講演に*印を付ける) 及びその他選考方針に関連する資料等の一覧

(7) 応募者を照会できる者2名を記載した書面

(8) (1) ~ (7) を一つのPDFファイルにまとめて保存したCD (又はDVD) 1枚

8. 選考方法

書類選考および必要に応じて面接を行う。

なお、面接を受けていただく場合の費用 (旅費等) は自己負担となります。

9. 公募締切 令和3年1月29日 (金) 必着

10. 応募書類の提出先

〒980-8572

仙台市青葉区荒巻字青葉 468-1

東北大学大学院農学研究科 沿岸生物生産システム学分野准教授選考委員会 委員長

(封筒の表面に「教員応募書類」と朱書きし、簡易書留で郵送又は持参下さい。応募書類は返却しません。)

11. 問い合わせ先

選考委員会委員長 大越 和加

電話: 022-757-4243

FAX: 022-757-4246

E-mail: waka.sato-okoshi.d3@tohoku.ac.jp

12. その他

・主たる勤務地は附属複合生態フィールド教育研究センター複合水域生産システム部 (女川フィールドセンター) となります。

住所: 〒986-2248 宮城県牡鹿郡女川町小乗 2丁目 10-1

・東北大学は共同参画を推進しており、多様な人材の積極的な応募を歓迎しています。

・雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律第8条に基づき女性教員の在籍率を改善するための措置として、公正な評価に基づき職務に必要なとされている能力が同等と認められる場合は、女性を優先的に採用します。

・東北大学には全学教職員が利用できる川内けやき保育園（定員 30 名）、青葉山みどり保育園（定員 100 名）および、星陵地区の方が利用できる星の子保育園（定員 120 名）があり、全国の国立大学の事業所内保育施設として最大規模の保育環境が整っています。また、大学病院内に軽症病児・病後児保育室もあり、全学教職員が利用できます。

・その他、本学の両立支援、研究支援等の詳細及び共同参画の取組については、下記 URL をご覧ください。

男女共同参画推進センターWEB ページ <http://www.tumug.tohoku.ac.jp/>

・本研究科に関する詳細は、<http://www.agri.tohoku.ac.jp/index-j.html> をご覧下さい。

なお、沿岸生物生産システム学分野の教員構成（2021 年 1 月 1 日現在）は、次のとおりです。

教 授 池田 実
准教授 （本公募）
助 教 藤井豊展

以 上